



理念

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

基本方針

- 地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- 地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協調を図ります。
- 二次医療を中心に担当します。
- 医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- 超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

初期臨床研修医

半年を振り返って



上平 遼



濱崎 彩



池田 弘佑

この半年間の研修だけで本当に多くのことを学ばせていただきました。また、実際に臨床の場に出ることで患者さまからの言葉をいただく機会が増えました。中でも「こういう医者はいけない」、「ここがよかった」といったお声には色々考えさせられ、また励みとなっています。今はまだ、これまで学んできた知識を実際の医療に照らし合わせる時間が多い段階ですが、日々できることが増えているのを実感しています。同期の3人の仲間もよく、新しく学んだことを共有しながらお互いに高め合っていくことができている。今後とも鳥取県東部の医療と健康づくりに寄与できるよう邁進してまいります。

市立病院で医師として働き始めて半年が過ぎ、月日の過ぎる速さを改めて実感しています。初期研修の2年間で今後の医療者人生に大きな影響を与えるだろうという意識をもって、限られた期間の中で数々の経験を通じて学びを深めています。日常の業務では上級医の先生方だけではなく職員の皆様からも助けをいただき、また多くのことを教えていただき感謝しています。

一日も早く患者さんに信頼され、病院にとっても戦力となる医療者になれるよう、時にはマイペースに、時には同期の先生方と切磋琢磨しながら日々研鑽に励みます。

初期研修にもようやく慣れてきました。同期や指導医の先生方だけでなく、他のスタッフの方々にも恵まれ、充実した研修生活を送っています。学生時代の勉強では、教科書を見れば正解が載っていましたが、研修医となってからは正解が無い問題に直面し、戸惑うこともありました。答えが分からずとも、患者さんにとって良い選択は何か、考えさせられる日々です。

入職当時より成長は感じられるものの、まだまだ未熟な面も多いと感じています。今後も現状に満足することなく研鑽を積んで参りたいと思います。

安心して入院生活を送っていただくために



医療安全対策室
リスクマネージャー
松本 智子

患者誤認防止 について

Introduction

病院での患者誤認防止において、お名前によるご本人確認は医療安全の基本です。また、患者誤認防止は、医療従事者はもちろん患者さんのご理解とご協力があって実施できるものです。

当院では安全な医療を提供するために、患者さんに「フルネーム」で名前を名乗っていただくことを基本としています。名前を何度もお聞きすることとなりますが、患者間違いを防ぎ、安全な医療を提供するためですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

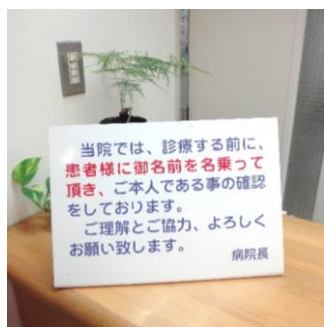
入院中の患者誤認防止対策例

リストバンド



入院される患者さんには、患者識別バンド(リストバンド)の装着をお願いしています。リストバンドにはバーコードとお名前、生年月日が印字されています。バーコードはモバイル端末で機械的に確認、印字されたお名前を視認することで、あらゆる場面で患者誤認を防いでいます。

氏名の確認



病院ではあらゆる場所・場面で患者さんのお名前を確認します。外来診察室入室時、レントゲン・採血等の検査時や、入院中の与薬・注射時などにご本人からフルネームを名乗っていただいています。名乗れない場合は、診察券やリストバンドで確認します。

与薬・注射時



薬剤に関する取り違えをしないために、患者さんに配薬するまでに何重ものチェックを行います。また、薬包には名前を記載しており、配薬時には、患者さんに名乗っていただき、リストバンドで確認するとともに、名前に間違いがないか患者さんに確認をお願いしています。

入院中の食事



入院生活において、食事は治療のひとつです。ただし、間違えた食事をお出ししてしまうと、アレルギーなど生命に関わる重大な事故となる可能性があります。そのため、食事トレイ一つひとつにお名前等が記載された「食札」を付け、患者さんにお名前を確認していただいています。

ESCO事業本格的始動

～ESCO事業と半年の実績～

当院は平成7年に現在地に新築移転し、建物の老朽化や地震などの災害対策についてたびたび話題にあがるのですが、それと並行してボイラーなどの熱源設備の老朽化も問題となっており、光熱水費や設備更新費用の捻出が課題となっていました。

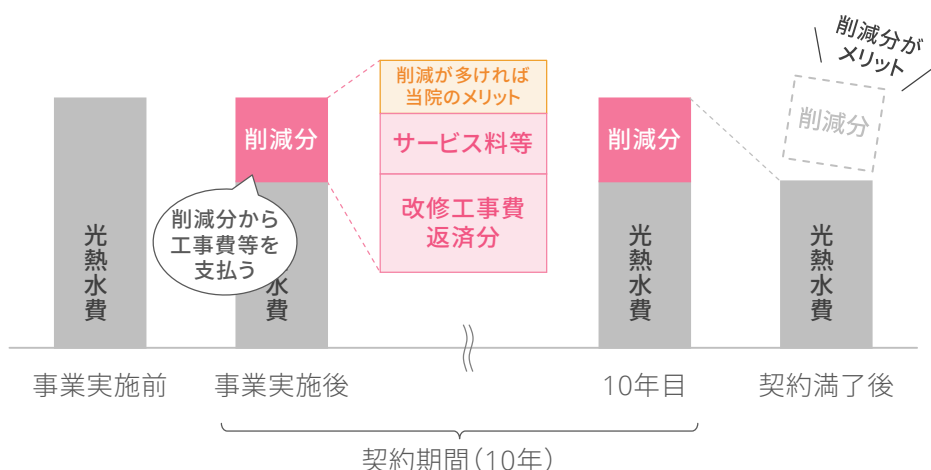
そこで、ESCO事業を活用して設備の改修を実施することとしました。環境に配慮した設備に更新することで光熱水費やCO₂排出量等の削減が期待でき、改修に伴う支出の急増を抑えることができるものです。令和2年3月に改修工事を終え、4月から運用開始となりました。

ESCO事業とは

Energy Service Company事業

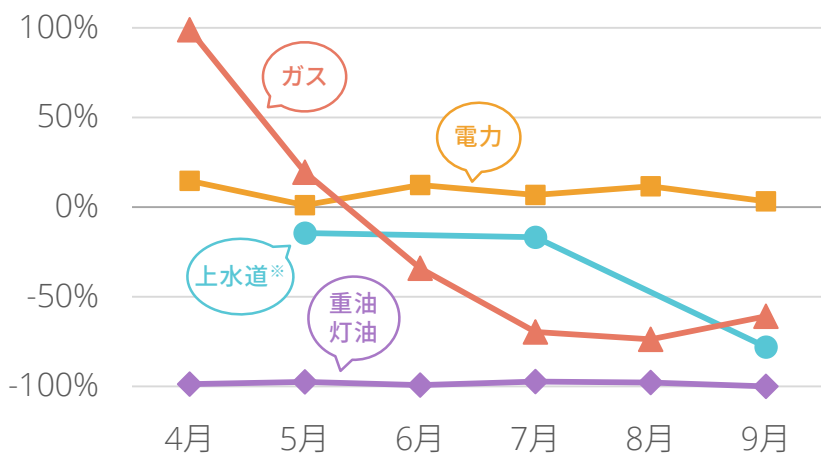
エネルギーに係る改修工事、維持管理などに掛かるすべての費用を光熱水費の削減分で賄う事業です。削減分の中から均等の額を契約期間中に事業者へ支払っていきます。契約期間終了後の光熱水費削減分は、すべて当院の費用削減メリットとなります。

ESCO事業のイメージ



半年の実績

今年度からESCO事業が本格的に始まり、半年が過ぎました。そこで、半年の実績を昨年度の使用量と比較してみました！



2020年水道・エネルギー使用量 前年比較(4～9月)

※ 昨年使用量を基準に、今年度の使用量増減率を表しています。

※ 上水道は、2ヶ月ごとの計測・請求となっています。

給湯などに使用する熱源の大部分を重油・灯油・ガスから電力に変更したため、電力量は増となりましたが、ガス・重油・灯油使用量は大幅減となりました。光熱水費は大きく抑えられ、CO₂排出量も削減効果があったと考えます。電力量については代替手段となったにもかかわらず、大幅に増加することはなく、エネルギー変換効率が格段に向上したためと考えられます。

この削減された費用については、ESCO事業契約期間中は改修費の支払いに充当され、支払経費は当分の間、横ばいですが、化石燃料の削減、CO₂排出削減により、環境負荷低減に貢献するものと考えています。